



# とっぱずれ



銚子東ロータリー・クラブ Weekly Bulletin NO. 1981



ガバナー補佐訪問クラブ協議会

第1981 例会 平成24年11月13日

\*\*\*\*\*

点 鐘 … 石上 明宏 会長  
 ローターソング … 我等の生業  
 会長挨拶 … 石上 明宏 会長  
 来訪ロータリアン紹介  
 … 親睦活動・家族委員会  
 会長挨拶 … 石上 明宏 会長  
 御祝披露 … 石上 明宏 会長  
 誕生祝 … なし  
 結婚記念日 … 宮内 勝利 会員(11月12日)  
 入会記念日 … なし

幹事報告 … 藤崎 一成 幹事

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

卓話

「R情報」

R情報委員会 狩野 勉 委員長

第5回定例理事役員会 (例会終了後)

出席報告 … 出席・プログラム委員会

来週のプログラム (平成24年11月20日)

\*\*\*\*\*

卓話

ガバナー公式訪問

クラブ協議会

お食事「常鮨 (にぎり)」



Peace through Service 奉仕を通じて平和を

2012~2013年度 RI会長 田中作次

第 1980 回例会(平成 24 年 11 月 6 日)

## 会長挨拶

石上 明宏

先週の 11 月 1 日(木)銚子市教育委員会より、昨年度の 40 周年事業で育英資金に使用して下さいと市に寄付をしたことで、感謝状を頂きました。

本日は、例会終了後、栗田ガバナー補佐を迎えて各委員長発表によるクラブ協議会がありますので、関係者の方々は、ご協力お願い致します。

本日の会長挨拶は、褒められ上手になるコツをお話しします。自分のことを褒められると、「いやいや私なんて…」と謙遜してしまう人は、とても多いものです。他人を褒めるのは得意なのに、褒められるのは苦手、という人もいれば、極度に照れてしまうから、素直に受け取ったら調子に乗っていると思われるから、などの理由がある方もいるでしょう。しかし、本来、「褒め言葉」は相手を喜ばせようとしたものですから、上手に受け取れるようになったほうが、自分も相手も気分良くなれます。褒められ上手になる最大のコツは、褒められたら、まずは一言「ありがとう」を言うことです。その後「褒められた気持ち」を表現すると、なお良いです。例えば嬉しい、光栄、ビックリ、といった感情語です。どうしても謙遜を付け加えたいなら、「ありがとう、すごく嬉しいな。自分じゃそんな風に思っていなかったんだけど…」とか、「ありがとう、頑張ったかいがあったな」とか、「ありがとう、〇〇さんに褒められるなんて光栄です」…等です。褒めた側のこともさりげなく持ち上げたり、相手の褒め言葉が自分のプラスになったことを伝えることで、褒めた方の気分も良くなることができ、一石二鳥です。

また、褒められるとすぐに、自分も何か「褒め返し」をしなくては、と反応して言葉を発してしまう人もいます。例えば「今日のネクタイ、恰好いいね！」と褒めたら、「いやいや、〇〇さんのネクタイもステキですよ！」といった風に、です。こうした褒め返しが喜んでもらえる場合もありますが、褒めた側にしてみれば、褒めがいをあまり感じられないですし、社交辞令に聞こえてしまったりもします。ですので、褒められたときは、「ありがとうございます」と素直に受け取るだけにして、別の日に適切な褒め返しをするほうが GOOD です。

ただ、世の中には時折、「自分が褒められたいので、他人をむやみに褒める」タイプの人もあります。やみくもに他人を褒めて歩いているような人は、“褒め返されること”を無意識に求めている可能性もあります。心理学でいうところの『承認欲求』の 1 つだそうですが、こうした人は、褒めた代償を得られないと分かると、急に拗ねたりワガママになったりもしやすいので、「この人、過剰に褒めてくるな」と思ったら、あまり真剣に取り合わず、多少距離を置いて接したほうが良いかもしれません。

ついでに、「褒め上手」になれるコツも 1 つだけご紹介します。どこか一カ所を褒める、という方法です。例えば、「今日、すごく恰好いいシャツ着ているね」とか「〇〇さんの目は、すごく魅力的ですね」などと褒められると、言われた人は、不思議と自分全体が褒められたような気分になることが知られています。心理学では『部分刺激の拡大効果』と呼んでいるそうですが、自分の“一部”を褒められただけで、自分“全体”を褒められたような気分になる、そんな心のメカニズムです。覚えておくと、ちょっとした褒め言葉で相手を喜ばせることができるかもしれません。とはいえ、稀に「一カ所褒め」を否定的に受け取ってしまう人もいます。一カ所褒められて、どうせ、そこしか褒めるところがないんでしょと悲観的に捉えられてしまう場合があります。

そうした反応をされたときは、「本当にそう思ったから褒めたんだよ！」と、もう一言、添えてあげると良いかもしれません。

以上のように、周囲に「褒め上手」「褒められ上手」が増えれば、相乗効果でみんな良い気分を共有できるはずですよ。褒められたときは、素直に受け取りつつ、相手への感謝と謙虚さも忘れない、そんな人になれるよう努めたいものです。

## 幹事報告

- ガバナー事務所より
  - バギオだより第33号の送付
  - ガバナー月信 11 月号訂正のお知らせ
  - R I オンライン寄付に関する最新情報
  - R I 日本事務局奉仕室臨時ニュースレター 受領
- ガバナーエレクト事務所より
  - 2013-14 年度地区主要会議の日程及び会場について
  - クラブ役員キット送付について 受領
- 東日観光より
  - R I 年次大会参加旅行尾ご案内 受領
- 例会変更のお知らせ
  - 佐原香取 RC より
  - 11/19(月) 点鐘 12:30 「鹿島神宮事務所」  
ガバナー公式訪問の為 受領
  - 小見川 RC より
  - 11/14(水) 定款第 6 条第 1 節(c)により休会 受領
  - 八日市場 RC より
  - 11/13(火) 点鐘 18:30 「梅田屋」移動例会・霜降会
  - 11/27(火) 点鐘 10:30 「タイヘイ(株)本社」  
移動例会・企業訪問 受領

☆週報受領 銚子 RC

## 卓話

「ロータリー米山記念奨学会委員会」

地区米山記念奨学会委員長 平野 一隆 氏

米山奨学会委員会の主要な役目は、「寄付増進」「奨学生・学友」「選考」の 3 つです。

私達地区委員は、米山という、日本のロータリアンが世界に誇れる他に類を見ない優れた奨学金制度の素晴らしさを知ってもらう為、奨学生・学友を伴っての卓話を積極的に行っております。

「日本に留学して」

米山奨学生 劉 維琴 氏

皆様、こんにちは。私は劉維琴と申します。日頃皆様方に大変お世話になっております。この機会をお借りして深く感謝を申し上げます。

この 7ヶ月余り、皆様と共に様々な活動に参加させて頂きました。私にとって新しい文化と触れる機会ができて、とても貴重な体験になったと思います。私のことをよくご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、改めて私のことについて話したいと思います。私の出身地は中国湖北省の武漢市です。湖北は「洞庭湖の北側」という意味です。省内には三国志の遺跡



が多く、「赤壁」の遺跡は日本の方々によく知られていると思います。また、長江三峡と神農架原始森林などの景観を含めて、見所が大変多いです。武漢は省都として人口800万人ですが、昔から交通の要所として便利な都市です。現在は日本の企業も沢山進出してとっっても活気があります。

私は2007年に日本に参りました。現在は千葉科学大学の大学院・危機管理学研究科で、糖尿病における糖タンパク質と血小板に関する研究をしております。将来はこの研究成果を通して日本の社会に貢献したいと思っております。

私が日本に来て、最も強く感じた事は社会における平等と公平、または法律やルールが厳しいことと、弱者に対する思い遣りが徹しているということです。

日本の人から「なぜ遠い中国からわざわざ日本に留学しに来たのですか？」という質問をよく聞かれました。私が日本に来た理由というのは、日本の科学技術が高いということを知っていたからです。さらに、数年前、中国と日本で合作したドキュメンタリー番組を見ました。それは、中国の留学生であった張麗鈴さんが作製した「私達の留學生活～日本での日々～」というものでした。このドキュメンタリー番組が中国において放映されました。この内容は日中両国で大きな好評と感動を与えました。番組中の主人公たちが日本で一生懸命に頑張っている姿が私の胸を強く打ちました。特に、「年齢など関係なく、本人さえ頑張れば、日本では様々なチャンスが得られる」ということでした。これは私がその番組から受けた最も強いインパクトでした。私はその時、一衣帯水の隣国である日本に初めて興味を持ちました。これにより、私は「いつか日本に留学したい」という夢が芽生えました。そして日本語の勉強を始めて、日本語能力試験2級に合格しました。

日本において勉強したいと思っていたことは、私は長い間、看護師として病院に勤めておりました。この時、中国社会において、複雑で様々な医療危機を見ました。しかしこれに対して自分に能力が欠如していたため、何も出来なかったことに苛立ちを覚えました。そして、千葉科学大学の「危機管理意識を有する臨床検査技師を育成する」という教育方針を知って、「臨床検査」と「危機管理」という2つのキーワードに目を引かれました。また、中国の病院において、臨床検査技師は医師に近い存在であるため、キャリアアップのことを考えると、「危機管理」という斬新の概念は将来母国の医療に役に立つのではないかと思います、留学を決めました。

日本に来て今の大学に入学した当初は、異国の生活に対する不安感を強く感じました。考え方のギャップが大きく、学業に付いて行けるかどうかとっっても心配でした。また、日本の習慣もよくわからないので話をすることもできず、従って知り合いもいなくて寂しい思いをしました。特に、雨の日の通学中に自転車が転倒して足に大怪我をしました。しかし、修学は大事なことから、片足で自転車をこいで通学した経験も有ります。そのとき精神的に苦しくて、学校を辞めて中国に帰ろうとも思いましたが、勉強に対する強い熱意のもとに自分を支え続けました。そして、時間が経つに連れて同級生や周囲の人達と親しくなってきました。その結果、今のようにすごく朗々と、アクティブな習慣を身につけることができました。今回の留学を通して、学校で勉強するだけではなく、日本の文化、日本の社会、そして日本の制度などあらゆることを知りたかったので、私はキッチンスタッフ、海産販売、ホテルサービス、不動産事務、家庭教師などのアルバイトをし、NPO 主催の様々な地域活動やボランティアなどにも参加しました。

充実した日々を送っている間に、中国人の主人と結婚しました。今は可愛くて元気な娘がいます。思い起こすに、赤ちゃんを産んで1ヶ月余りの頃、日本では史上最悪な大震災が起きました。日本の被災者は悪夢のようにお思いになったことでしょうか。しかし、当時日本にいる私の一家にも身をもって地震の恐ろしさを実感しました。小さな揺れにも大きな恐怖を感じました。その時、赤ちゃんを抱いて外の駐車場に飛び出したことは何度も有ります。毎日放射能の情報をテレビで収集し、安堵感を得ていました。赤ちゃんはこのことを知りません。赤ちゃんは無邪気な笑顔で私と主人を見つめて困難を乗り越える勇気を与えてくれました。

生まれたばかりの赤ちゃんの成育に必要なものが沢山あります。一方で、水道や電気、通信などのライフラインも一時的に中断されました。さらに、交通手段も無く、途方に暮れている時、日本の友人達が次々とやって来て、食品や、水、粉ミルク、おむつなど沢山の生活に必要なものを届けてくれました。これによって、私達は大きく勇気付けられました。中国のことわざ「困難を経ってから真の情けが生まれる」という言葉が有ります。私は人生において初めてその意味を体験しました。これは、私の最も困難な時期に日本の友人たちが国境を超えて友愛と支援の手を伸ばしてくれたことです。そして、「友情」という真理を私に教えてくれました。この時私の一家を助けてくれたのは、中国の親友であり日本の親友で有りました。また、学校の先生方、アルバイト先の社長、家庭教師先の人達など沢山のの方々です。強大な地震と合わせて、放射性物質が銚子市に飛来したことを知った香取市在住のお年寄りの夫婦二人は子供の生活用水が放射性物質によって汚染されていることを理解して、自分の家の被害を顧みず、車で往復2時間の距離を定期的に地下30メートルの安全な井戸水を汲んで届けてくれました。さらに、アルバイト先の社長は地震後さらに厳しくなった主人の就職を支援するとともに、東京にある自分の家も無料で貸して頂いております。言葉だけでは言い尽くせませんが、私達一家が今まで無事に来られたことは多くの方々の支援によるものであり、本当に心の底から感謝しています。

私は一人で日本に来ましたが、多くの友達の友情、学業、家庭を通して、日本の生活習慣を学びつつあります。この事は日本に来て本当に良かったと思います。

来日して既に5年が経過しました。今年の4月に、ロータリー米山記念奨学会の奨学生として推薦されて、ロータリークラブの皆様とご縁を頂くことになりました。カウンセラーの澤田さんをはじめ、クラブの皆様が優しく私と接して下さったお陰で、不安定な心がやっと落ち着くようになりました。特にカウンセラーの澤田さんは私の人生の先生であり、過ちを正して頂き、世界一安全な国である日本はその厳しい法律と制度に基づいているということを教えてくださいました。さらに、私のために誕生日会を設けて頂き、美味しい家庭料理を楽しみながら日本の文化や風習なども詳しく話をしてくれました。

奨学生になって半年が経ちますが、奨学金は多額であり、生活上の経済的負担が軽減され、研究に専念する事ができました。社会的地位と深い理念を持ったロータリーの皆様と接していると、小さな世界しか分からなかった自分の視野が大きく広がり、少しずつ変わって来ていると感じています。毎月一回発行される「ロータリーの友」という雑誌を読ませて頂いております。特に感じたことはポリオの撲滅、識字率の向上、貧困の削減など、世の中で困難な状況を打開するため、ロータリアンの皆様が懸命に努力されている姿はとっっても素晴らしいことであ

ると始めて知りました。社会の一員として社会のために何に貢献してきたか、また生きているのは何のためかと自問自答した時、私は心の虚しさを感じました。ロータリーはその扉を開けて、全く新しい世界を見せて下さいました。その結果、自分の無知に対して自覚ができ、ロータリーの精神は世のための奉仕に対する考え方を教えてくれました。

「愛されて初めて愛することができる」。この内容はロータリーの会員と雑談しているときに、学んだ言葉です。私を日本で優しく接して下さった分を何らかの形で恩返しをしたいと思っています。優しく接して下さいました方々のように娘にも優しくなって欲しい、娘の名前を「予馨(ユイシン)」と名付けました。これは「人に香りのいい気持ちを差し上げる」という意味です。いつまでも、どこに行っても、何の仕事をやってもこの使命を忘れられないように、また、人に善をなしている中で真の愉悦の源を見つけて欲しいという願いも込めております。

日本は今では私の心の中で寛ぎやすく第二の故郷のようなところとなりました。自分と日本の関係は私の命の中で切っても切られない間柄になりました。中国人にせよ日本人にせよ、地球上に生きている人間同士の観点から見ると、何れにしても、ロータリーが標榜する4つのテストが我々に告げているように、真実で、公平に、好意と友情を深められ、皆のためになるのであれば、すべての場合に平和が見込められるはずだと思っております。実際に、私のある日本の友人は30年前から中国語を独学して、日中の友好に努力を払って来ました。そして、政治上の混乱が収まらない時期、今年の9月に中国へ旅立ちました。目的は中国の友人と友好を図るためです。混乱の最中であるにもかかわらず、敢えて訪中したことは、彼と中国友人との間に強い信頼関係があったためと思われま。

蛇足になりますが、彼の話によると、彼の多くの友人と千葉科学大学を卒業した留学生も含め、最善をしてくれたそうです。彼は複数の都市を訪問しましたが、皆は必要以上に安全を考えてくれたそうです。これこそ、本当の日中友好の関係ではないでしょうか。私は両国を愛しています。これを前進させるためには、「架け橋」が必要ではないでしょうか。やはり、私の日本の友人のように長期に渡って、民間の友好関係を維持することが最も大切だと思います。

私は未熟ですが、皆様は温かい心で私を指導し、見守ってくださいありがとうございます。私はロータリーの一員となることによって、単なる栄光に浴することだけではなく、ロータリーの奉仕の心を学びながら、将来世の中に貢献のできる能力を身につけて行きたいと思っています。僅かな力でも日中両国の相互理解を増進するために精一杯努力し、一人でも多くの方がお互いの国に興味を持って頂き、理解して頂くことを願っています。

私のような中国の若者が日本に留学に来て、見聞を広げるならば、日本に対する理解はさらに深まるはずだと思います。

我々留学生を受け入れて頂くことは、学校の先生方をお願いすることであり、また皆様方にご支援とご理解を切実にお願いすることでもあります。一方、日本の方々も機会があれば、ぜひ中国にいらっしやって、中国の多くの人々と交流を図り平和と友好の心を感じて頂ければ幸いです。

まとまらない話ですが、これを持ちまして、話を終わりにしたいと思っております。皆様の貴重な時間を拝借し、この機会を与えて頂きましたことに感謝を致します。特に、住まいが大原にある、ロータリー米山奨学委員会の平野委員長がわざわざここまで足を運んで頂いておりますことに深く感謝致します。ご清聴、ありがとうございました。

————ニコニコ————

### 第7分区ガバナー補佐 栗田壯一様

クラブ協議会、宜しくお願い致します。

### 地区大会表彰

米山功労者  
メジャードナー  
木村貞夫会員



### 臨時理事会開催及び持回り決議 議事録

日時 平成24年11月6日(火)15:00 事務局より FAX  
議題

1・入会希望者の件 (被推薦会員候補者) 承認

### 前回の例会(11/6)報告

点 鐘 石上 明宏 会長

出席報告

会員総数 40名 出席規定除外数 7名

出席者 19名 出席率 74.36%

10月23日 確定出席率 82.05%

来訪ロータリアン

地区米山奨学会委員長 平野一隆氏 (大原RC)

第7分区ガバナー補佐 栗田壯一氏 (八日市場RC)

欠席者 14名

メイクアップ

平野君 狩野君 (11/5千葉科学大学RAC)

スモールコインBOX

小計 ¥ 2,530-

累計 ¥ 36,600-

ニコニコBOX

小計 ¥ 16,000-

累計 ¥ 196,500-

銚子東ロータリー・クラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789

メール [c-higashirc@tcs-net.ne.jp](mailto:c-higashirc@tcs-net.ne.jp) URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 石上 明宏 副会長 宮内 博 幹事 藤崎 一成

クラブ広報・会報委員会 川津 光雄・福田 昭浩・平野 恭男・杉浦 武

表紙題字 網中喜一郎初代会長

R. I 第2790地区

ほととぎす 銚子は国の とっばずれ

古帳庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦(古帳庵 古帳女)が銚子に遊んだときに

詠んだもので、この碑は圓福(円福)寺に現存する。